



## <今月のご案内>

ネイチャークラフト講座  
故・渋谷吉尾爺直伝

### 開拓時代のしめかざり

かんじき作りの名人だった渋谷吉尾爺から教わった手作りのしめ飾りです。スゲを縊い、輪にして、トドマツを飾ります。昔ながらの素朴なしめ飾りを、一年の感謝を込めて作りましょう。

【日 程】①12月18日（木）18:30～20:30  
②12月20日（土）10:00～12:30

【場 所】ブナセンター（送迎要相談）

【講 師】齋藤 均氏（北限のブナ研究所）

【申込み】前日17:00までにブナセンターに電話

【定 員】各回5名 ※中学生以上 ※町民優先

【参加料】500円（スゲ刈り協力者は無料）

【持ち物】汚れてもいい服装

（靴は脱いで足を使って作ります）



## 冬休み特別企画

### ブナセンターの木工房で 工作しよう！



町内の子どもを対象に、木工房を使用料無料で開放します。自由なアイデアで、自然素材を使って作品をつくってみましょう。ぜひ保護者の方もいらっしゃい、遊びに来てくださいね。

【日 程】12月24日～27日および、  
1月8日～15日（13日（火）を除く）  
各日9:30～17:00（最終受付16:00）

【場 所】ブナセンター木工房

【申込み】電話予約がおすすめ（当日予約可）

【対 象】町内の小学生・中学生

【定 員】同時に4組10名程度まで

【参加料】材料費のみ（無料～500円程度）

【その他】小学生は保護者同伴（使用料免除）

送迎を希望される方はご相談ください。

### 工房からのお知らせ

ブナセンターには3つの工房があります

木工房：開館時間中は随時利用できます

陶工房：初めての方は教室にご参加ください

食工房：主に町の農家さんが冬期間に糀や味噌、豆腐を作ります（興味のある方はまずは見学を）

使用料 210円（大人1名2時間）～

※65歳以上の町民は使用料免除

※別途材料費等がかかる場合があります

**夜間開放** 木・陶工房が無料開放になります

毎週木曜日 18:30～20:30

材料費は  
かかります

**陶芸教室** 初心者向けの教室です（予約制）

毎週木曜日 13:30～15:30

18:30～20:30

完成までに  
3回の来館が  
必要です

参加費 粘土代 600円/1kg

\*工房利用についてくわしくはお問合せください\*

### 珍しい！？オオカマキリ発見！

黒松内で初記録の昆虫「オオカマキリ」が、今年8～9月、町内小学生により市街地で発見されました。道内でもオオカマキリがよく目撃されていたのは渡島地域のみでしたが、今年は札幌周辺や日高など他の地域でも多数報告されています。建築・園芸資材などにくついて運ばれた卵が、今年の夏の暑さのせいで孵化・成長しやすかったのかもしれません。

カマキリの  
たまご

秋以降、オオカマキリは草に卵を産みつけて、一生を終えます。もし卵を目撃したら、ぜひブナセンターにご一報を！

今回オオカマキリを発見したのは、黒松内小学校の児童お二人です。情報提供いただき、ありがとうございました。



2025年8月28日撮影

### ～「渋谷式」かんじき 今年も貸し出します～

黒松内名物「渋谷式かんじき」は、故・渋谷吉尾爺が改良を重ねながら完成させた桑材のかんじきです。とてもはきやすく、軽くて丈夫。ブナセンター周辺の林や森林公園で、冬の森歩きはいかがですか？

期 間：積雪がある間

貸出料：1足200円(1日)

※町内での使用に限ります



発行所：黒松内町ブナセンター

〒048-0101 北海道寿都郡黒松内町字黒松内512-1

TEL 0136-72-4411 FAX 0136-72-4440

MAIL bunacent@host.or.jp HP https://bunacent.host.jp

FB https://www.facebook.com/kuromatsunai.bunacent



クリーム色  
の泡が固  
まった感じ

# ヒグマを「正しく、畏れる」

おそ

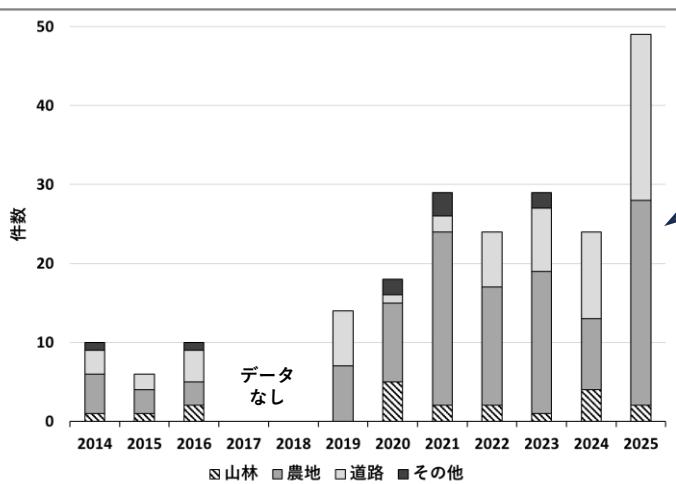
ヒグマ特集VOL.2  
「黒松内のヒグマ」

ヒグマは北海道のどこにでも生息しており、黒松内町に住む私たちのすぐ隣でも暮らしています。今年も山地、農地、道路沿いと、いたるところでヒグマの出没が確認され、毎週のように防災行政無線で情報が伝えられた時期もありました。

町内のヒグマの状況は、近年になってどのように変化しているのでしょうか？

## 町内のヒグマ状況（黒松内町産業課 提供）

### <直近11年間のヒグマ出没件数の推移>



★カラーの図表や写真は、ブナセンターHPや  
ブナセンターの掲示資料で確認できます。

### ※出没場所の内訳

山 林：黒松内岳登山道・林道・河川敷など。  
農 地：牧草地・スイートコーン畑・デントコーン畑・馬鈴薯畑・豆畑・小麦畑・そば畑・サイレージ置き場・水田など。

その他：散策路、駐車場、笹原など。

町内の出没件数は増加傾向にあります。  
出没時期は6～9月に集中しています。

どの年も、出没場所としては農地での割合が高く、近年は道路への出没も増えてきているようです。

農地への出没状況をみると、6～7月は小麦畑、8～9月はデントコーン畑で多く確認されています。

### 町内の箱わな付近のセンサーフィルムに映るヒグマ。

2025.8深夜



夜間～  
早朝にかけて映る  
ことが多い。

2025.7早朝



森林と農地・市街地との境界付近で  
多く目撃されており、特に添別地区・  
西の沢地区での出没が目出ちます。川  
沿いでの目撃も多いようです。

※ヒグマ出没情報を共有するシステム「ひぐまっぷ」の掲載情報をまとめました。

※●は出没場所(姿や痕跡の目撃)を表します。

※「ひぐまっぷ」のデータに関しては、町産業課にお問い合わせください。

北海道全体でもそうですが、近年、町内のヒグマの出没件数も増加傾向にあります。町内の詳しい状況は、「ひぐまっぷ」などでデータが蓄積されることにより、出没しやすい場所や時期などの傾向が少し見えてきました。ヒグマに遭わないためには、ヒグマを正しく知るところから。野外活動時には、「ひぐまっぷ」など町の公開情報もチェックしましょう。